

行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	科学者間ネットワークの構築	事業開始年度	昭和	作成責任者		
担当部局庁	日本学術会議事務局	担当課室	企画課	影山 洋一		
会計区分	一般会計	上位政策	科学に関する重要事項の審議等			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	日本学術会議法	関係する計画、 通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度 以内)	我が国の科学者を代表するアカデミーである日本学術会議(全国約84万人の科学者の代表として選出された会員210名と連携会員約2,000名で構成)において、政府から独立した立場で科学者間交流を推進し、科学者コミュニティ内の連携・協力体制を強化することで、科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させること。					
事業概要 (5行程度以 内、別添可)	科学者間のネットワークの構築に寄与するため、大学等の研究機関を超えて研究活動を支える学術研究団体の機能強化等に関する審議を行い、その結果を日本学術会議協力学術研究団体(約1,800団体(平成21年度末時点))を始め、広く学術研究団体に周知する。また、各地域で、日本学術会議で集積した研究成果や学術情報の提供を行うほか、地域の科学者からの意見・要望等をくみ上げるため、科学者懇談会、地区会議公開講演会を開催する。					
実施状況	<p>○機能を強化する必要性が指摘されている学術研究団体について、自己改革に向けた検討に資する方策を示すことを目的として、科学者委員会の下に「学協会の機能強化方策検討等分科会」を設置し、審議を行っている。平成21年度は、平成21年3月18日にとりまとめた「学術団体のあり方に関する調査研究－中間報告(記録)－」を基に、学協会や研究者等の幅広い参加を得て、平成21年5月30日にシンポジウム「学協会の新公益法人制度への対応の現状と課題」を開催した。</p> <p>○平成21年度においては、「北海道から発信するフードイノベーション」や「世界自然遺産白神山地を考える一人と自然の共生の視点から」など地域及び最近の話題をテーマとした地区会議公開講演会、地域の科学者の意見を聴く場である科学者懇談会を、それぞれ各地区(北海道、東北、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄)において、合計9回開催した。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	16	24	23	17	13
	執行額	10	16	15		
	執行率	63%	67%	65%		
	総事業費(執行ベース)	10	16	15		
自己点検	支出先・ 使途の把握 水準・ 状況	科学者懇談会、地区会議学術講演会等に必要の手当、謝金及び旅費について関係法令に基づき各個人に適切に支給している。 また、科学者懇談会、地区会議学術講演会等で必要なポスターの印刷などについても、適正な契約手続を行い、受注業者に対して職員が指導・監督を行える体制をとっており、予算の支出先・使途の把握については、十分な水準になっている。				
	見直しの 余地	科学者懇談会、地区会議学術講演会等の運営に当たっては、ボランティアで各大学に協力を依頼するなど、各地域と連携を密にとるとともに、国民生活に身近で話題性の高いテーマで開催し、より多くの科学者、国民に参加してもらうように努める。 また、ポスターの印刷なども引き続き適切な契約手続を行う。				
予算 監視 の 所 効 率 化	地区会議講演会は、関係科学者のために行うものなのか、国民のためのものなのかを整理した上で、継続が必要な場合には「科学の役割に普及・啓発」と統合して経費の削減・効率化を図るべき。					
補 記						

日本学術会議事務局企画課
15百万円

〔 地方における活動を充実させる
ために必要な経費等 〕

→ 【一般競争入札】

A. (株)キタジマ
1百万円

〔 委員会報告書の印刷経費 〕

→ 【随意契約(少額)】

B. 民間企業(7社)
0.8百万円

〔 地区会議学術講演会のポスター印刷経費等 〕

C. (株)太陽美術
0.5百万円

〔 地区会議学術講演会のポスター発送業務等 〕

D. 国立大学法人京都大学
0.3百万円

〔 地区会議学術講演会会場借料 〕

E. (財)日本学術協力財団
0.3百万円

〔 月刊誌「学術の動向」購入経費 〕

F. Cocoro工房
0.2百万円

〔 地区会議の看板作成業務 〕

G. 民間企業(3社)
0.2百万円

〔 学術研究団体との連携強化に必要な経費 〕

H. 京都大学生活協同組合
0.1百万円

〔 地区会議学術講演会会場運営経費 〕

→ 【旅費・手当:直接】

I. 会員・連携会員等(219人)
11.6百万円

〔 会員・連携会員等の旅費・手当 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

(注) 計数は原則四捨五入によっているため、資金の流れ別紙の合計とは合致しないものがある。

A.(株)キタジマ					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	委員会提言及び報告書	1			
計		1	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

